

R4専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドラインに基づく情報提供 山梨県立宝石美術専門学校

ガイドラインの項目	学校が設定する項目	情報提供内容
(1)学校の概要、目標及び計画	<b>【概要】</b>	
	学校名	山梨県立宝石美術専門学校
	校長名	飯野一朗
	所在地	山梨県甲府市丸の内1-16-20 ココリ内
	連絡先	055-232-6671
	学校の沿革	昭和55年1月18日 山梨県立宝石美術専門学校起工式(甲府市愛宕町) 昭和56年4月13日 開校 平成元年4月1日 学科増設 平成5年4月1日 学科再編 平成19年4月1日 課程、学科及び付帯事業の再編 平成22年9月1日 甲府市中心街(現在地)へ校舎移転 平成25年9月28日 附属施設「ジュエリーミュージアム」開館 平成27年4月1日 専門課程の修業年限を3年に延長
	学校の特色	ジュエリー産業に必要な人材育成を目的とした、国内唯一の公立の専門学校。業界の現役スペシャリストを含む教員・講師による、理論と実践のバランスのとれた本校ならではの質の高い指導を行っているため、就職を目指して実践的な経験を積むことができる。 素材との対話を繰り返し、試行錯誤することが「ものづくり」の根幹を養うために一番の学びとなる。変化の激しい時代だからこそ、普遍的な基礎能力と高い創造力を身につけることが重要であり、自らデザインしたジュエリーを自らの手で創り上げる体験を積み重ねることで、これらの能力を向上させていく。
	<b>【目標及び計画】</b>	
教育理念	ジュエリー産業の明日を担う意識と力をつけて、社会で活躍できる人材を育成する。	
教育方針	「自分のデザインを自分の手でジュエリーに」を教育目標として、ジュエリーに関する知識と技術を基礎から応用までしっかりと身につけさせる。	
(2)各学科等の教育	入学者選考の方針・方法	本校の教育理念と特色について理解し、学習の意欲が高い者 学校推薦型選抜 面接試験 一般選抜 小論文試験、面接試験
	学科名	ジュエリー学科
	定員	35名
	在学者数	95名
	カリキュラム	本校HPIにシラバスを記載 <a href="https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/jewelry/gakko/gakka_curriculum.html">https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/jewelry/gakko/gakka_curriculum.html</a>
	進級・卒業の要件	※詳細は学則に記載 学則第8条に定める単位数の修得が出来たとき、上位の学年への進級又は卒業を認める。 単位の取得については、 ①科目成績評価が秀、優、良、可、不可の5段階のうち 可 以上であること。 ②科目の授業時間の8割以上の出席があること <a href="https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/jewelry/gakko/gakka.html">https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/jewelry/gakko/gakka.html</a>
	卒業時に付与される称号	専門士(工業専門課程)
	資格取得・検定合格実績	技能検定3級(貴金属製装身具製作)、山梨県プレ・ジュエリーマスター、山梨県ジュニア・ジュエリーマスター、ジュエリーコーディネーター検定2級、リテールマーケティング検定3級 など
卒業後の進路	本校HPIに就職状況を記載 <a href="https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/jewelry/shinro/shushoku.html">https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/jewelry/shinro/shushoku.html</a>	
(3)教職員	教職員数	専任教員9名、兼任教員40名、事務局12名 計61名
	専任教員の組織、専任教員の担当する分野	教授4名、准教授2名、講師1名、助教1名、教員補助1名 デザイン分野 4名、プロダクト分野 3名、ビジネス分野 2名
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況	企業研究、特別課外講座、公開講座
	実習・実技等への取組状況	展示会見学、企業見学、学外研修、卒業制作発表展、コンテスト参加(JJAジュエリーデザインアワード、水晶美術彫刻デザインコンテストなど)
	就職支援等への取組支援	授業での指導(2年次後期の企業研究)、ビジネス・マナー講座、合同企業説明会の開催、就職相談による個別指導の実施
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況	宝美祭(学園祭)、技能五輪全国大会、課外講座(トレンドセミナーなど)
	課外活動などの状況	部活動(各種加工、CAD、石研究など)、学生自治会活動、地元商店街とのコラボレーション活動、地元経済団体の活動への協力
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況	1学年35名の少人数制とし、各クラスの担当教員と就職担当教員を配置することにより、教員と学生がきめ細かくコミュニケーションを取ることができる環境を作っている。また、スクールカウンセラーを設置し、困り事、学習、就職などについて、学生が日常的に相談する機会を確保している。
(7)学生納付金・修学支援	学生募集、学費・教材費などの費用、修学支援の内容	来年度入学生の募集及び学費等の概算負担額の説明 日本学生支援機構奨学金(給付型・貸付型)の説明 本校HPIに記載 <a href="https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/jewelry/juken/boshu.html">https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/jewelry/juken/boshu.html</a>
(8)学校評価	自己評価、学校関係者評価の結果	本校HPIに自己評価、学校関係者評価を記載 <a href="https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/0518.html">https://www.pref.yamanashi.jp/houseki/0518.html</a>